NUMAZU JAPAN　CHARTERD, 1967

沼津ワイズメンズクラブ

事務局　〒410-0022沼津市大岡下石田1428－1　沼津YMCAセンター内

2017年 3月　THE Y'S MEN'S CLUB OF NUMAZU

国 際 会 長	主題	Joan Wilson （カナダ）	“ Our Future Begins Today.「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア会長	主題	Tung Ming Hsiao （台湾）	“Respect Y’s Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	主題	利根川　恵子（川越）	“For the Future, Act Today!” 「明日に向かって、今日動こう」
富士山部長	主題	増田　隆 （富士クラブ）	「富士山のように大きな心で奉仕をしよう」
クラブ会長	主題	渡邉　実帆	「温故知新　そして躍動」

今月の聖句

いつも喜んでいなさい。
絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。
すべてを吟味して良いものを大事にしなさい。
テサロニケの信徒への手紙一　5章　16～21節

BF＆メネット強調月間

2月が記念例会の為、3月の例会はTOF 例会です。

3月例会

３月１４日(火)18:30　沼津YMCAセンター
司会：泉　Y’s

開会点鐘	会　長
開会の言葉	大村Y’s
ワイズ信条＆ソング	平野Y’s
会長挨拶	会　長
50周年報告及びその他	
委員会報告その他	
誕生日・結婚祝い	
出席率・スマイル報告	
閉会の言葉	菅沼Y’s
閉会点鐘	会　長

March

♪ HAPPY BIRTHDAY ♪

3月　1日　長谷川 芙紗子メネット
3月15日　大山　智子メネット
3月18日　渡邉　実帆Y's
3月23日　平野　由貴子メネット

♪Happy Wedding Anniversary♪

該当者ありません

沼津ワイズメンズクラブ　創立50周年記念式典

2017年2月18日は沼津ワイズメンズクラブの歴史において、またその活動に関わってきた私にとってもとても大切な一日になりました。近年のクラブメンバーの減少にもかかわらず、この日のために多くの時間をかけて準備を進めてきた会長・実行委員長そして、仲間（メンバー）たちの思いを、この式典に参加していただいたワイズの仲間、また来賓その他の協力していただいた方々にも十分に伝えることができたと思います。何よりも、沼津クラブらしい堅実でアットホーム的な内容の式典になったと思います。皆様に本当に感謝しています。また本当にお疲れ様でした。大きな周年行事が終わるととかく気が抜けて、その反動でクラブの活動に影響がある事例を今まで見てきましたが、沼津ワイズメンズクラブには次の大きな目標（次年度東日本区大会ホスト）があります。今回のこの記念式典開催における経験を生かして是非、沼津クラブらしい素晴らしいおもてなしが東日本区大会においてもできるように、皆で知恵を出し合っていけたらと思います。

文:平野正文

＊記念誌ただ今作成中です。参加者には後日お送り致します。

『沼津クラブ50周年記念例会』に温かいメッセージを頂きました。

増田隆　富士山部部長より

すばらしい記念例会に参加させていただきありがとうございました。メンバーの皆様の機敏な動きと連係プレーは目を見張るものがありました。これが50年の歴史と積み重ねられた伝統の力なのか、と感動しました。実帆会長のリーダーシップの下、全会員が団結、結束して長い準備期間を経て記念例会の4時間が見事最高の晴れ舞台になったことは富士山部としても大変誇りに思います。クラブ功労者への感謝盾贈呈時の実帆会長の涙は一生忘れられないものになるでしょう。又この涙が沼津クラブのこれからの50年につながることを信じて・・・・・。最後の讃美歌312番を歌っているとき胸がこみ上げてきたのは私だけではないでしょう。本当にお疲れ様でした。

千葉クラブ　青木一芳ワイズより

きょうはすばらしい、感激に満ちた記念例会に参加できました。この幸いに感謝します。会のあともDBCの皆様との交歓が続いたことでしょう。

私ども夫婦はホテルのバスで沼津駅に送っていただいたあと、路線バスで下石田まで行き、バス停そばの豆腐屋さんで聞いて、青木初音さん宅をお訪ねしました。お加減勝れずきょうの会を失礼したとのことでしたので、玄関先でお顔を拝見しただけで辞去しましたが、とりあえずきょうの会の模様をお伝えすることができました。（沼津クラブ会員の夫君故栄実さんは私と遠縁で、今日は会で初音さんにぜひお会いしたかったのです。きょうの講演者大澤さんが栄実さん著「一枚のこの切手一戦争と平和を考える一」に触れられたこともお話ししました。

石巻広域クラブ　清水弘一ワイズより

素晴らしい記念例会に出席させていただきありがとうございました。内容もさることながら、被災地への思いがひしひしとこもった例会でもありました。物品も格別のご配慮をいただき完売することができました。当クラブのメンバーの今後の大きな励みにもなると思います。貴クラブの今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

東京西クラブ　　吉田明弘ワイズより

沼津クラブ50周年おめでとうございました。私は残念ながら参加できず、青木一芳さんのメールを見て、良い会だった事を知り、うれしく、また出席したかったなという思いが強くしました。

沼津クラブの50年と聞いて思い出すのは、目黒クラブに入会してワイズメンとしてよちよち歩きだった私は、担当主事の一色俊一さんがしばしば沼津クラブ例会に出張しているので、主事一人のセンターから、なぜ出張するのかと思っていました。戦後の一時期、沼津にYMCAがあって、それを再建したいという強い意志が東京YMCA総主事の木本茂三郎さんにあり、ベテランの一色さんが通ったのだろうと、後になって思いました。一色さんは、中田さんに期待されていました。同じ南東部にあって、迫力のある熱海クラブとは違った雰囲気があり、存在感のある方も多く、私たちには親しめる感じがあり、「芋ほり会」などには参加した思い出があります。最近のブリテンを拝見すると、クラブのメンバー構成も良く、ブリテンにも多くのメンバーが執筆され、素晴らしいな、と思います。沼津クラブは、静岡西部への始発駅です。新しい50年に向かわれる貴クラブのご活躍をお祈り申し上げ、今後ともよろしくお願い申し上げます。

DBC　インド・ハイデラバードクラブを訪ねて

CF委員長　小林　隆

「ハセガワサン、コバヤシさん、コンニチハ！！」ビジェイさんが両手を広げ大きな声で迎えてくれた。2月11日から14日までの4日間、長谷川ワイズと共に、IBCを結んでいるハイデラバードクラブを訪ねた。デリー空港からハイデラバード空港へ。ハイデラバードクラブのメネットが花のレイを首にかけてくれた。気恥ずかしいほどの嬉しい出迎えを受けた。

ハイデラバードクラブは、ちょうど創立60周年で、式典に招待され大歓迎を受けた。長谷川ワイズは、何回か同クラブを訪問しており、親交が厚く、特別表彰を受けるほどの信頼関係を築いていた。記念式典は、百数十人が参加し盛大に行われ、ワイズ活動の隆盛を見ることができた。

滞在中の三日間の夕食は、各メンバーのホームパーティに招待され、家族ぐるみの親近感が高まり、いっそうの絆を深くした。特に、ラマカン・アナンダご夫婦の家は素晴らしく、月を見ながらの屋上での盛大なパーティーには、長谷川ワイズと共に感激してしまった。帰路のシートで思ったことは、ハイデラバードクラブは、家族的で絆が厚く、活動がしっかりしている非常に力強いクラブであった。我クラブもこうでありたいと願った。ビジェイさんとメンバー、家族の皆さん「本当に、ありがとう」また会えるを楽しみに・・・

文：小林　隆

＜50年の思い出⑦＞　青木君と韓国大会に参加　1月号⑥の続き

チャーターメンバー・功労会員　中田成

韓国の家庭の床には油紙のような敷物が這ってあり微かに暖かい。この床がオンドルというものらしい。メンバーの家に厄介になり、その上に布団を敷いて泊めてもらったが、快適な温度で嬉しい一夜だった。布団の脇に立つ黒くて重い高価な螺鈿の屏風もすぐに自分を夢路に案内してくれたものだった。帰途は釜山まで高速道路を走った。国会議員の黒いジープでだ。「高速道路数百キロの中央分離帯、上り下り二列の植木はすべて自分の会社で植えたものだ」と助手席の若い会員が胸を張っていた。彼は国会議員。当時の清州クラブには大学教授が一人、国会議員が二人いて元気なワイズばかり。当時のこの国の議員はほとんどこの黒いジープ型の外車を持ち、車にはブルーのナンバープレートで治外法権とか、話を聞いて驚いたものだった。釜山までの帰途の高速道路には時たまグランドのような「大きな大きな広場」がある。「北朝鮮が攻撃して来たら戦闘機の駐機場になり高速道路は滑走路になる」と急に真剣みを帯びた話になった。この後は往路と同じ連絡船で下関から寝台列車で沼津へ戻ったのだろうな。今はこの後、不思議なことに何も覚えていない。自分は便所が近いからと下のベッドに寝たのは覚えている。青木君がいればもっと面白い記事が出て来たかと思う。何しろ慌ただしく楽しい旅行だった。今ではもう夢にも韓国は出てこないなぁ。

報　　告	2／11～14	インドハイデラバッドクラブ訪問　長谷川・小林
	3／4　(土)～5(日)	次期会長・役員研修会（東山荘）渡邉会長参加
今後の予定	3／14（火）	3月例会　沼津YMCAセンター　新入会員歓迎会（串屋）
	3／21(火)	3月役員会　沼津YMCAセンター　19：00～
	5／21(日)	第3回富士山部会　熱海YMCAセンター
	6／3(土) ～4(日)	第20回東日本区大会　場所：ウエスタ川越

悲しいお知らせ

竹内敏朗熱海YMCA理事長

2月24日、NPO法人熱海YMCA理事長竹内敏朗さん（熱海グローリークラブ、元国際会長、日本区理事）が昇天されました。26日お通夜、27日葬儀がご家族、近親者にて、家族葬として行われました。**お別れ会**は、熱海YMCA・熱海グローリークラブ主催で**5月27日（土曜日）13:30から熱海YMCAセンター**で行われます。近日中に主催者から、クラブ宛に案内が届きます。

BF切手収集のお礼　　BF委員長　山野　弘

今年度は渡邉会長、中田ワイズご夫妻、藤森ワイズ、長谷川ワイズ、泉ワイズ、山野の協力により日本切手370g外国切手40グラムを富士山部事業主査に渡すことが出来ました。来期の話をすると鬼が笑うかもしれませんが、やはりメンバー全員で（数枚でもかまいません）BF活動を頑張りたいと思っております。次年度も是非ともご協力をお願い致します。私は故高橋ワイズの遺志をしっかり継続してこれからも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

ドライバーのつぶやき　　No.21　　泉　文雄

2月18日（土曜日）50周年例会、無事終える事が出来ました。「自己満足」と笑われるでしょうが、素晴らしい記念例会だったと思っております。沼津メンバー及び会場を提供して頂いたニューウエルサンピアのスタッフの方々に心より感謝致します。　今回の周年行事はブラザークラブの彦根クラブ・京都トップスクラブの仲間、そして富士山部各クラブ又関東地区のメンバーの方々にお集まり頂けたこと、実行委員長として最高の幸せです。私も今年で〇〇歳になりますが、まだ60年・70年とこの達成感を今後の礎（いしずえ）とし頑張っていく所存です。

私の住んでいる御殿場地区もだんだんと春の気配を感じ始めてきました。先日も恒例の富士山ススキ草原の山焼きがありました。今は黒々とした地肌ですが、後ひと月もすると青々とした芽が出て山菜取りの人達で富士の裾野にも大地の恵みが施されます。

ご報告:50周年記念例会終了後のDBC交流会において「ひろ君を救う会」“ひろくんに心臓移植を”に彦根C、京都トップスC、沼津Cの3クラブで募金をさせて頂いた33,794円をひろ君の為に送金させていただきました。これは中田ワイズの姪御さん（西山美樹さん）が茨城YMCAに関わられている関係で交流会の時にお話があった為です。少しでもお役に立てたら幸いです。稲本ひろくんのために皆様もお願いします。http://www.savehiro.com/

2月18日（土）の50周年記念例会において皆様に頂きましたスマイルは**合計￥114,000**でした。

このスマイルは東日本大震災と熊本地震に半分ずつ寄付させていただくように、利根川東日本区理事にお渡しいたしました。皆様本当にありがとうございました。

在　籍　者	18　名	スマイル	￥　114,000
出　席　者	14　名	スマイル累計	￥　85,500
ゲスト・ビジター	140　名	BF現金	￥　0
メイキャップ	1　名	YMCA基金	￥　0
広義・功労会員	3　名	出　席　率	100%

編集後記：　大きな行事がひとつ終わりました。しかしながらまだまだ沼津クラブには大きな大きな行事が待ち受けております。

メンバー全員初めての経験ですので、気を緩めることなく次に進まなければいけません。健康第一で頑張りましょう。